

Fレックスでの連携した FD活動の推進

FDネットワーク代表者会議

2010年9月7-8日

福井県大学間連携事業「Fレックス」FDチーム

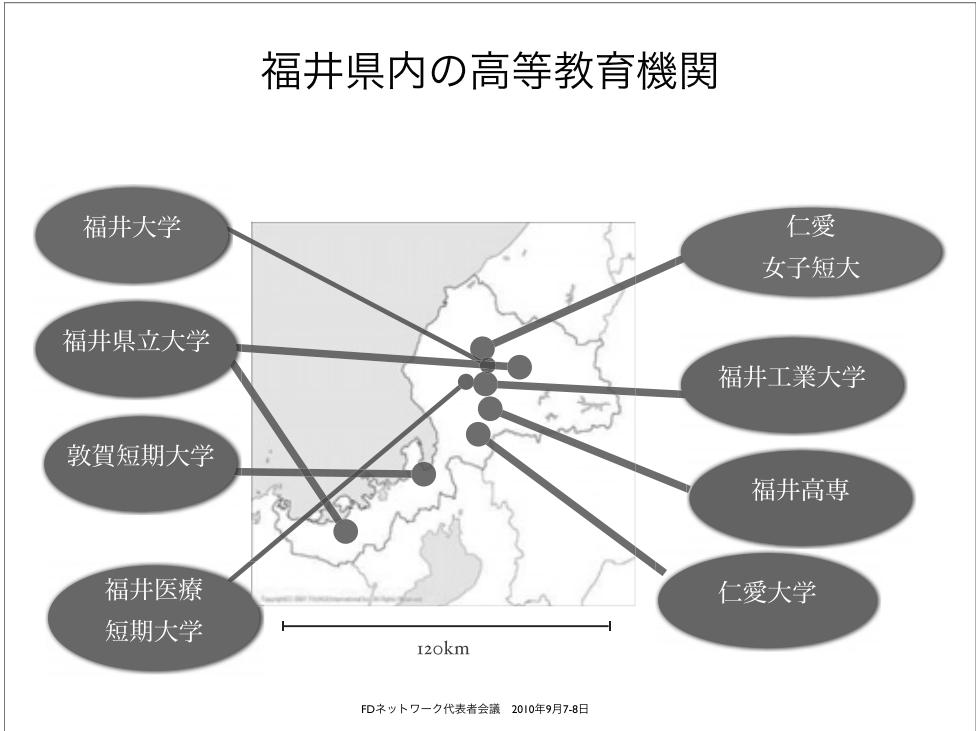
福井高専 坪川武弘

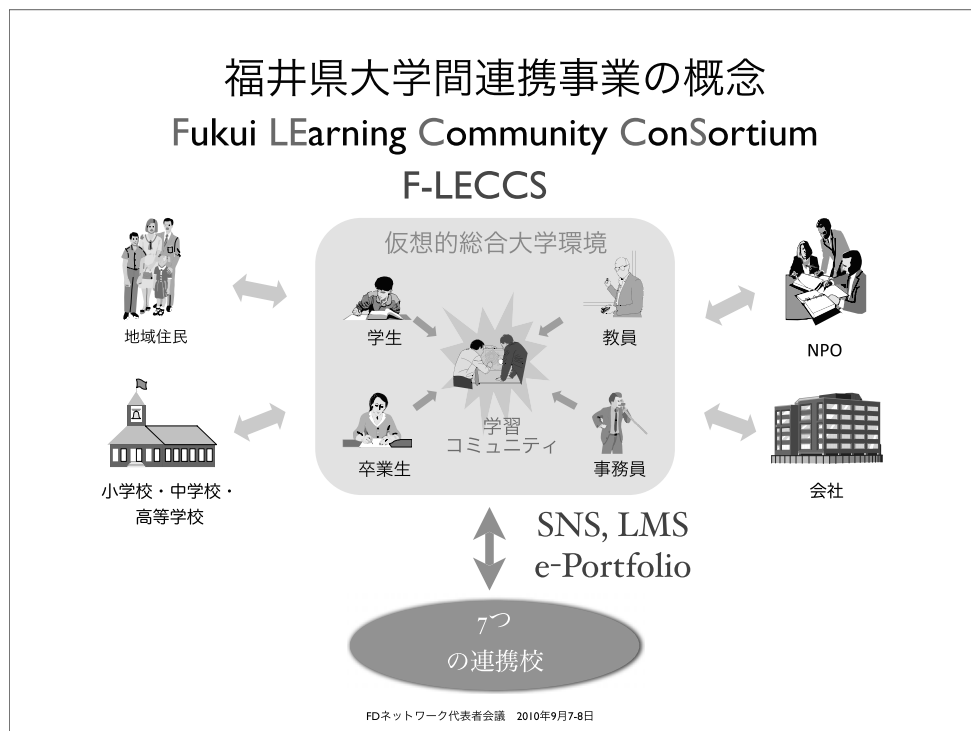
tubokawa@fukui-nct.ac.jp

今日の話題

- 福井県内での大学間連携とFD連携の取り組み
(昨年度の報告内容と重複する箇所は報告では省略します)
- 今年度の新しい試み
- FD活動の課題と今後

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日





F-LECCSの紹介

- ホームページ <http://f-leccs.jp/>
- 活動開始以降の各種イベントの動画記録の作成と保存
- ロゴマーク 「マナ坊」君
原画:高専生, 制作:仁愛短大生
- SNS, LMS, e-Portfolioの立ち上げ

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

Fレックスは福井県内の大学と連携して、高度な学習資源にアクセスできる環境をつくるプロジェクトです。(公益財団法人福井県立大学連携推進事業)



トップページ Fレックスとは 各チームの活動 活用事例 参加校紹介 公開講座一覧 リンク集 お問い合わせ

各チームの活動

- Fレックス
- 学習チーム
- FDチーム
- 地域チーム
- 基盤チーム
- 学生チーム
- 各大学での活動
- これまでのあゆみ
- SNSトピックス

最新情報

最新 (31日分) (2010)

第1回Mehaオープンフォーラム (Fレックス第6回)	Fレックス	08/03 08:00
第4回Fレックス・ライトニングトーク会を開催します!	学生チーム	08/03 08:28
ジュナビド・ラウンドテーブルQ&Aを開催します!	学生チーム	07/30 16:57

Fレックスからのお知らせ

Fレックスとは
人のネットワークから学びの創造へ

福井県内の7つの高等教育機関が連携して他機関の学習資源に容易にアクセスできる環境をつくるプロジェクトがFレックスです。

キーワードは学習コミュニティ。つまり人のネットワークをつなげていくことを通じて、多様な学びの空間を創造しようというものです。そのために、教員の教授能力を高めるためのFDチーム、教員、学生の間で多様な学びの空間を構築する学習チーム、地域住民の参加も得ながら学習スペースを創造する地域チーム、学生による学生のための企画と活動を行う学生チーム、Fレックスで利用するICTシステムの設計、実装、運用を行う基盤チーム、の5つのチームが活動しています。

Fレックスの構築には参加組織の構成員は自由にアクセスできます。また、地域住民の方も申請により利用できます。Fレックスが創る学びの空間は、参加することにより初めてその実実が享受できます。あなたも是非参加してみてください。

- Fレックスとは
 - 連携校間の目的
 - 連携校間の内容
 - プロジェクト体制
 - 利用するツール
 - 事業計画・スケジュール

検索

検索

LMS/SNSレポートフォリオ ログイン

- LMS (授業サポート) ログイン
- SNS (コミュニティサポート) ログイン
- レポートフォリオ (学習者サポート) ログイン

Fレックス・ニュースレター

Fレックス・ニュースレターはこちら
2010年7月、第3号発行!



FLECCS Twitter Follow us!

Fleccs
@fleccs

fleccs 本日、第14回Fレックス研究会を開催しました。今回は、「Fレックスの効果的な利用法」と題して、LMSやSNS、プレゼン会議システムなどの利用法を広く皆様にご紹介、ご質問でも参加できますので、ぜひ! 詳しくはウェブで! <http://fleccs.jp/fleccs>
312 Area App

Fleccs 第15回研究会を7月6日に開催しました。

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

Fレックスは福井県内の大学と連携して、高度な学習資源にアクセスできる環境をつくるプロジェクトです。(公益財団法人福井県立大学連携推進事業)



マイホーム マイブログ メッセージ スタイルメニュー トモダチ コミュニティ 検索 入力欄 検索

メッセージ 2

!! 重要なお知らせ !!

【重要】ネットワークメンテナンスに伴うサービス停止のお知らせの詳細はこちら
【重要】色んな設定が出来る(設定変更)をしてみよう!

..... インフォメーション

お知らせ

一般参加者のパスワード変更方法について → [詳細]
 【SNS活用ブックを利用ください!】 → [詳細]
 【不適切な書き込み等を見つけたら】 → [詳細]
 【おすすめコミュニティ】
 Fレックスの使い方を助けるには [教えてFレックス!]
 不具合などの報告は[不具合報告コミュニティ]

【チャットルームが出来ました!】
右のリンクから利用できます [ルーム01][ルーム02][ルーム03]

FレックスSNS楽しく過ごすおすすめコミュニティです。まだ、どんなコミュニティに参加したらいいか迷っている方も、ぜひ登録ください。
 【福井のうまいもの情報】(福井県民向けに役立つ情報) [ねこみ] (猫好き) [犬好きコミュニティ] [コーヒー好き集まれ~!] [お系紅茶] [英語学習コミュニティ] [みんなで山登るねん]

◎ (連携サイトお知らせ) (過去のお知らせ)

新着メッセージ (2)

08月02日 Re(6) おはようございます (祝08月02)

08月02日 Re(4) おはようございます (祝08月02)

[全て]

..... 新着情報リスト

トモダチ最新ブログ

坪川武弘さん



[プロフィール確認・編集]

残高: 26 ポイント [履歴]

なんでもメモ

ここは自分専用の利用スペースです。URLを貼れば簡単なリンク集に、HTMLタグも使えるので装飾も可能です。

[設定]

スケジュール

2010年8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

[天気予報] [新着予定] [カレンダー]

F-LECCSの目的と活動の概要

- 福井県内の高等教育機関が、ICT技術を利用してゆるやかに結合し、学生や市民にとっての仮想的な総合大学として機能するようにする
- 継続的な大学連携のための基盤として、人のネットワークとICTシステムの構築、学習コミュニティによる大学・地域の活性化、大学間連携による大学教育の改善と改革の推進をはかる
- 4つのテーマにもとづく活動をすすめる
 - (1) ICT技術を用いた連携基盤の整備
 - (2) 相互研修型のFD活動の推進
 - (3) 学校を越えた学生による学習コミュニティの形成
 - (4) 広く地域に開かれた学習コミュニティの形成
 - ☆(5) 学生の自主的なコミュニティーの形成

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

福井県内の大学間連携とFD連携

- H20年(2008)10月から5大学・短大・高専間でF-LECCSとして連携を開始、H21年に6校、H22年度からは7校が正式参加で福井大学はオブザーバー参加の形態
- 4つの活動の1つとして、相互研修型のFD活動を協同して推進することを目指している
 - (1) それぞれは小さな規模 合計学生数 6600名、教員数500名
 - (2) 各学校が独自の伝統・歴史・校風を持ち、FDも進めてきた
 - (3) 福井大学(学生5000名以上)がオブザーバー参加となっている
 - (4) どこかがFDプログラムをすべて提供する形態にはできない
 - (5) 互いに知恵と労力を出してすすめる以外には方法はない
- 「福井県大学連携リーグ」でのFD活動の唯一の受け皿

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

連携したFD活動での目標

- 3年間の目標
 - (1) 連携校間および各教育機関内における相互研修型FD活動の推進
 - (2) 各校のFD活動の経験交流と共同の取り組みによる教育改善活動の連携
 - (3) 国内外の優れたFD活動の調査および、FD資料の蓄積

- H22年度(2010)の目標
 - (1) 相互研修型FD活動の推進
 - ・FD関係の課題別研究の共同実施と共通アンケート等の検討（学生理解と学生支援）
 - ・公開授業等の授業改善活動の推進
 - ・カリキュラムと成績評価に関する研究の推進、継続的な課題別研究会の組織化
 - (2) FD/SD活動での地域・企業をまきこんだ連携の模索と今後の方向性の検討
 - ・ネットワークを利用したFD活動の推進（資料の蓄積と公開、学校を超えた議論の場の提供）
 - ・地域・企業を巻き込んだ高等教育に関する議論の開始と促進
 - ・SD活動についての研究の着手

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

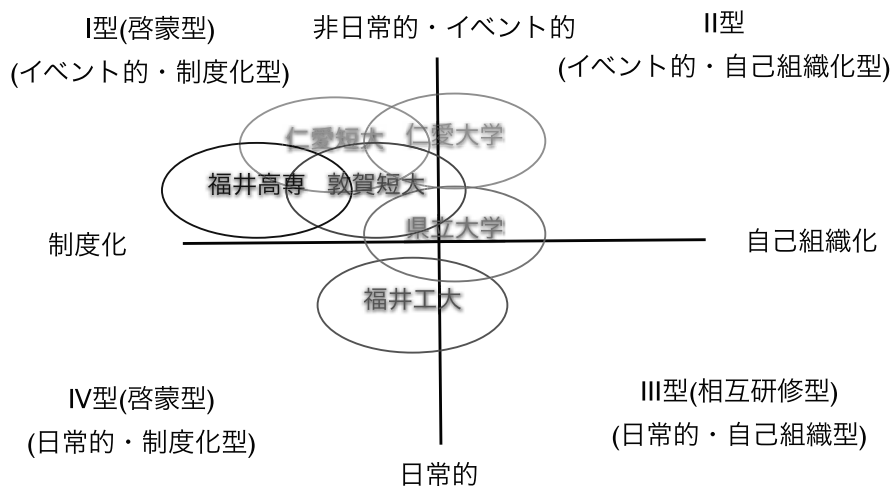
参加校のFD活動

参加校	FDの歴史	FDの組織	授業公開	授業アンケート	研修会等
福井県立大学	2002年FDワーク委員会	教育・学習支援チーム	年間15名程度の授業を公開	実施している 報告書も公開	新任研修、セミナー等実施
福井工業大学	2001年FD推進委員会	FD推進委員会	授業公開・見学制度	前期・後期に計年4回実施	各種の研修会、講演会の実施
仁愛女子短期大学	2007年の外部評価より	FD委員会	制度化はされていないが、個別に実施	前期・後期の年2回実施	FD講演会を実施
敦賀短期大学	2002年自己点検として	FD委員会	実施	実施	実施
福井高専	2001年に自己点検・評価委員会として	創造教育開発センター	公開授業週間、各学科年1名の義務	前期・後期の年2回実施、報告書は学内のみ公開	各種講演会、研修会の実施
仁愛大学	2004年に自己点検委員会として	FD推進委員会	(未実施)	中間調査と学期末調査	学科内FD研修、講演会

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

連携校の現状とその特徴

少しずつIII型に移行している (田中氏の分類による)



FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

2008年～2009年の主な活動

- 第1回FDチーム会合 (08年9月30日福井県立大学)
6校 (仁愛大学を含む) のFD担当者が集まり現状と課題について報告と討議し交流をはかった
- 合同講演会 (08年11月7日福井高専) 「高等教育機関とFD活動」 (講師 田中每実氏 京都大学)
- 第1回シンポ「大学連携で取り組むソーシャルラーニングの可能性」 (08年12月19日「響きのホール」)
「2008年度のまとめの会」 (09年3月27日福井県立大学) 4つのチームから2008年度の活動報告と討議
- 第1回FDチーム(09年5月14日福井高専)今年度の活動方針について議論、福井医療技術短大も参加
- 第2回シンポジウム「大学間連携と相互研修型FD」 (09年5月29日「響きのホール」福井市)
「京都大学高等教育研究開発推進センターによる相互研修型FD連携」田中 每実氏 (京都大学)
「東日本FDネットワーク“つばさ”の活動」小田 隆治氏 (山形大学)
「函館での大学間連携 - 函館大学センター構想-」雁澤 好博氏 (北海道教育大学函館校)
「福井県内の教育改善活動の現状と連携による今後の展望」藤原 正敏氏 (仁愛女子短期大学)
- FD研究会「学生理解」 (09年7月30日仁愛大学) 学生理解をテーマとして各校から現状の報告と討論
- 授業アンケート研究会 (09年11月30日福井工大)

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

活動の紹介



FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

2010年度の活動

- FDチームの会合を月に1回程度開催
- 福井大学とのFD活動での連携推進、会議には今年度より毎回参加してもらっている
- 合同公開授業（7月1日に福井県立大学にて）
 - ・ 県立大学 津村先生「東アジアの文化と社会」の授業を公開
 - ・ 授業当日は、10名程の福井県内の教職員が参観
 - ・ ビデオ録画をして、ビデオ参観も可とした
- 公開授業研究会の開催（7月15日福井県立大学にて）
 - ・ 津村先生の授業をもとに、3名の教員の指定討論
 - ・ TV会議システムを利用して討論
 - ・ 大教室での講義について、理系の教員も含めて様々な視点からの議論

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日



Fレックス合宿研修会

- 第1回のFD合宿研修 2010年9月3-4日 冠荘(福井県池田町)にて
- 目的: 時間をかけた研究会とスキルアップ講座、教職員の交流
- 内容
 - 研究会1「初年次教育、ポートフォリオの取り組み」
 - 研究会2「アンケートから見る福井県の学生の特徴」
 - 研究会3「スキルアップ講座 プレゼン能力の向上を目指そう」
- この合宿に向けて、福井県内の6つの教育機関で6月初旬に同一アンケートを実施(高専4年生、短大2年生、大学3年生の計870名)
- 横断的なFD合宿としては、はじめての試み

FD活動の連携を通して

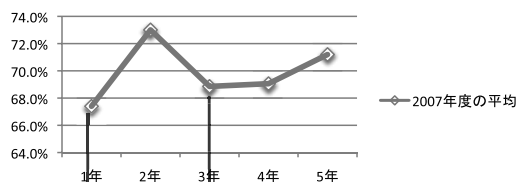
- 以外に多い共通の課題（と共通の悩み）
 - ・ 授業アンケートはとっているがどう活用したら良いのか分からない
 - ・ 公開授業はようやく持ち始めたが反省会等でも議論が深まらない、公開授業の参加者数が少ない
 - ・ FD担当者の孤立感
- 変化する学生への対応をどう進めたら良いのかは毎年の課題
 - ・ 初年次教育、高大連携、メンタルヘルス、を実態に応じて進める
 - ・ 「学士力」保証、「キーコンピテンシー」論、GPA導入に対してどう応えていくのか
- 単独ではできなかった活動が連携によって可能となってきた
 - ・ 独自FD活動の活発化、その後ろ盾としての連携事業

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

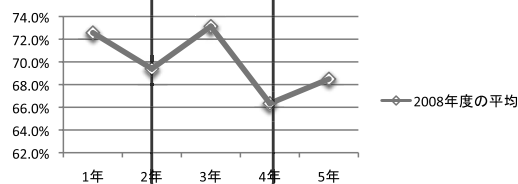
教育上の共通課題例

授業アンケートの
学年による変動
福井高専のデータ

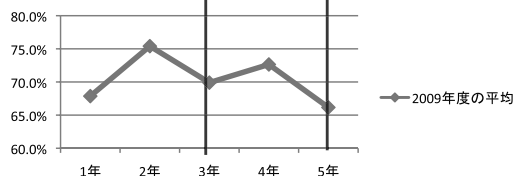
2007年度の平均



2008年度の平均



2009年度の平均



少しずつではあるが成果が現れている

- 各校のFD活動は連携校に普通に公開され、誰でも自由に参加することができるようになった
- 規模の大きなFDシンポジウムや講演会が協同開催というかたちで実現
2008年12月、2009年5月、2010年6月
- 教育関係の様々な会議(国際会議)や研究会に連携校から分担して参加し、その内容を知ることができるようになった
EDUCAUSE, E-Learn, Web Based Education, CSCL, etc
- FD担当者や推進者がいろいろと刺激を受け、学校のあり方や教育観について見識を広めることができるようになった
- 所属する学校の枠を越えた、日常的な教育議論の場が作られつつある

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日

今後の課題など

- 協働のFD活動の一層の推進と他の教育関係・企業との連携の模索
==> 合宿研修、合同公開授業、研究会の定着と充実の課題
==> 他の教育機関（中学高校他）、県内企業関係者との懇談
- 教職員の恒常的発展を担保する「場」の形成
==> 日常的な情報交換と討論を通して、相互研修的にすすめる
==> SNS等でFDコミュニティーを形成していく
==> 教職員のFD活動等の記録を残す、ポートフォリオとして整備
- 大学間連携事業後の来年度以降、現在の人的ネットワークとICT基盤を維持・発展させていくことの必要性和重要性
==> 現在のコアメンバーの中では、この点共通の認識となっている
==> 参加校のトップの中での共感と支持を得ることが課題
==> 活動上必要な経費負担

FDネットワーク代表者会議 2010年9月7-8日